

事業概要：ユネスコ無形遺産「鳥出神社の鯨船行事」を活用した次世代承継事業

申請者	三重県四日市市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	9,106千円 (1,763千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野（大項目）	地場産業支援関連事業分野
目的・効果	本市のユネスコ無形文化遺産「鳥出神社の鯨船行事」は、観覧環境の負担増加や担い手不足が課題である。補助金の拡充・新設により、魅力発信を強化することで行事への関心を高め、富田地区の関係人口の増加や担い手不足の解消を図る。 今回の取り組みでは、地域の魅力発信拠点として活用可能な古民家等の展示施設整備を新たに補助対象とし、地域団体が拠点として活用することで、文化や観光資源の総合的な発信力を高める。付随して各地の文化財を活用した新たな実証イベント及び観光周遊コースを設定することで、本行事を知る・来るきっかけづくりを創出する。これにより観光消費額の向上をはじめ、地域経済が活性化し、地域の活力向上と文化の持続的継承を実現することで富田地区が本市の文化・経済の中核として発展する地方創生の好循環を創出する。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 ユネスコ無形文化遺産「鳥出神社の鯨船行事」における観覧席や仮設トイレの設置、案内看板や警備員の配置など、行事運営に必要な環境整備と、実技教室、発表会、シンポジウムの開催、地域継承拠点の整備等、行事の保存と継承につながる魅力発信を支援する。 加えて、文化財デジタルマップを活用したまちなか探検事業や小学校との連携による担い手学習会を通じて、文化継承と地域活性化を図る。						
	【ソフト事業】 ○文化財デジタルマップを活用したまちなか探検事業 90千円 ○「シビックプライド」を次世代へつなぐ担い手学習会事業 92千円 ○行事の魅力を伝える事前学習会事業 81千円 【施設整備・事業整備・備品経費】 ○「日本ブランド」を支える地域のおもてなし環境整備 1,500千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	★①四日市市の観光消費額一人当たり（+1,500円） ②富田地区の人口増減数（+0人） ③鳥出神社の鯨船行事集客数（+900人） ④鯨船行事担い手増加数（+9世帯） ⑤鳥出神社鯨船行事HP接続数（+900件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.yokkaichi.lg.jp/www/contents/1764551775795/index.html